

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
オリエンテーション・見えないだけ	1	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由とともにまとめている。	○進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	
1 広がる学びへ	アイスプラネット	4	○小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	○登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	魅力的な提案をしよう	3	○説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。	○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	○資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
	文法1 自立語漢字に親しもう	2	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
2 多様な視点から	枕草子	6	○古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○随筆を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを広げたり深めたりしている。「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。	○文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	クマゼミ増加の原因を探る	5	○報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	○文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。	○積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
	漢字1 熟語の構成	1	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。	○第1学年までに学習した350字程度から450字程度までの漢字を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
き葉3 合とう 向言	短歌を味わう	5	○短歌などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。	○複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。	○表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
	メディアの特徴を生かして情報を集めよう	2	○本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。	○複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
い そつ ばも に本 は	読書を楽しむ	7	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	○本や文章などにはさまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
4 人間の きずな	ヒューマノイド	4	○小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○話や文章の構成や展開について理解を深めている。	○登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが作品の印象にどう関わるかを捉えている。	○登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
	字のない葉書	3	○随筆を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方を知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	○観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	○文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	表現を工夫して書こう 適切な根拠を選んで書こう	3	○社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。	○相手や目的に応じて、敬語を適切に使って書いている。	○自分の思いや考えが伝わるように、具体的な説明を加えたり、表現の工夫をしたりしている。	○自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書くようとしている。
	聞き上手になろう	2	○説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。	○話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	○話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	○論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ 漢字	1	○教材文を読み、同じ訓をもつが、意味の異なる漢字(同訓異字)の使い分けについて理解する。	○学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。	○積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 論理を捉えて	モアイは語る——地球の未来	5	○論説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。	○筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠の在り方を理解している。	○自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。	○論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
	適切な根拠を選んで書こう	3	○多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。	○自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。	○根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	○粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
6 いにしえの心を訪ねる	扇の的 ——「平家物語」から	5	○古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	○「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。	○登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	仁和寺にある法師	5	○古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○現代語訳や語注などを手がかりにして、仁和寺の法師の言動やそれに対する作者のもの見方、考え方を理解している。	○文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。	○積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
	漢詩の風景	4	○漢詩などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。	○好きな漢詩を選び、表現や句を引用し、構成や表現の効果を伝え合っている。	○進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
7 価値を語る	「最後の晚餐」の新しさ	5	○評論や解説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。	○二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	○二つの文章を比較したり、書き方の特徴を捉えたりすることで、筆者が文章を書いた意図や目的についての自分の考えを深めている。	○進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン2 具体と抽象	2	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
	文法2 用言の活用	3	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
	立場を尊重して話し合おう	1	○それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。	○適切な根拠となる情報を集め、意見と根拠、理由づけを整理している。	○互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて質問したり反論したりし、振り返りにおいて自分の考えをまとめている。	○進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第一中学校

単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いつも本はそ	「自分らしさ」を認め合う社会へ	2	○本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。	○実体験を基に書かれた作品の魅力に触れ、今後読みたい本を選んでいる。	○教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
	8 表現を見つめる	走れメロス	6	○小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。	○登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力や文章にまとめている。
8 表現を見つめる	描写を工夫して書こう	2	○物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(○場面の様子や人物の心情を表す表現を使って書いている。	○書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。	○粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	○話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。	○話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	○今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
	漢字3 送り仮名	2	○学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	○送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	○送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認することができる。	○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
学びを深める	国語の学びを振り返ろう	2	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	○1年間の学習を振り返り、できるようになったことや、自分が変わったと思うことを語り合うことができる。	○これまでの学習活動における具体的な変化を抽象化してまとめている。	○粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。
	鍵	2	○詩歌を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	○抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。	○自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。	○詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、ものの見方について話し合おうとしている。
	国語の力試し	1	○社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。	○敬語の働きや種類を理解し、電子メールの下書きを推敲したり、文面を書いたりしている。	○読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。	○今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。